

# 生きるに値する人生 Lives Worth Living 上映会 & アメリカCIL研修報告会

共生をめざして。

25年前にアメリカで制定された「障害をもつアメリカ人法」。世界中に大きな影響を与えたこの法律の制定までの活動を記録したドキュメンタリー映画を上映します。また、今夏アメリカ研修を終えた2名の研修報告から、様々な視点で日本における課題を紐解きます。



11.3 水祝 13:00 ▶ 17:00 ●受付12:40~

会場

仙台市シルバーセンター  
7階・第一研修室 仙台市青葉区花京院1-3-2

お問い合わせ  
TEL.022-248-6054 (CILたすけっと)

参加無料・予約不要  
170名まで

手話通訳

要約筆記



## ドキュメンタリー映画「Lives Worth Living」上映会

**第一部**  
13:10~  
世界中の障害者差別禁止法に影響を与えたこの法律が制定された背景には、生きることを求めた障害や病を持つ人たちの活動がありました。障害者の共生を求める闘い…障害者と健常者が共に生きる社会…何度も語られる言葉。しかし現実には「移動ができない」、「学校が分けられている」、「働けない」。この「ないない尽くし」の状況を変えるために、アメリカの障害者が第二次世界大戦後から1990年のADA(障害をもつアメリカ人法)成立までどのように連帯し闘ってきたのか、権利獲得運動の歴史を取り上げたのが、映画「Lives Worth Living」です。当時の映像でご紹介します。

## 日米若手障害者交流セミナー報告

**第二部**  
14:30~  
ADA法ができて25年たった今、アメリカの障害者をめぐる生活や社会環境はどうなっているのか。この夏、現地でのセミナーを終えた2名の当事者が現地の実情を報告します。

## パネルディスカッション

**第三部**  
15:10~  
アメリカ研修報告会と併せて、日本とアメリカでは何が違うのか、そしてアメリカの障害者運動に学びつつ、ここ宮城・仙台でも多くの人と独自の活動を作り出すためのポイントを探りながら議論を交わします。

..... 共催団体 .....

障がい者の視点で、障がい者の地域生活をサポートいたします。

**CILたすけっと**

〒982-0011 仙台市太白区長町1丁目6-1

**TEL.022-248-6054**

●FAX 022-738-9501 ●MAIL cil-tasuketto@k6.dion.ne.jp

<http://blog.canpan.info/tasuketto/> CILたすけっと 検索

社会福祉に関する様々な啓蒙活動や、生活の場の運営を行っています。

**社会福祉法人 ありのまま舎**

〒982-0034 仙台市太白区西多賀4丁目19-1

**TEL.022-243-1300**

●MAIL houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

<http://arinomamasya.sakura.ne.jp/> ありのまま舎 検索

## 登壇者紹介

### 今村 登 (いまむら のぼる) / 日米若手障害者交流セミナー研修報告・コメンテーター



1964年長野県飯田市生まれ。1993年に不慮の事故にて頸髄を損傷し、以来電動車いすユーザーとなる。2002年に仲間と「どのような障害があっても自分の住みたい地域で自立生活を送れるようにする事」を目指し、NPO法人自立生活センターSTEPえどがわを設立、事務局長に就任。現在、全国自立生活センター協議会(JIL)副代表、DPI日本会議事務局次長等を兼任。また、障害者の自立生活運動を通じて見えてきた問題を切り口に、他の分野の問題点との共通点を見出し、他(多)分野の人々とのつながりを作っていく活動も手掛け始めている。

所属  
団体

- NPO法人自立生活センターSTEPえどがわ(<http://www.step-edogawa.com/xoops/>) / 事務局長
- 認定NPO法人DPI日本会議(<http://www.dpi-japan.org/>) / 事務局次長

### 白江 浩 (しらえひろし) / パネリスト



1956年大阪市生まれ。中学生の時に、被爆者の人々と出会い、差別・戦争・貧困との問題に深く関わる。高校生時にはじめて筋ジストロフィーの人と出会い、難病・障害問題にも深く関わる。大学在学中に筋ジストロフィーの山田3兄弟と知り合い、映画「車椅子の青春」制作・上映運動に参加。以来、重度の障害・難病をもった人々と関わりながら生活をする。1981年から国会議員秘書等を務める。1997年より、社会福祉法人ありのまま舎常務理事代行など、ありのまま舎の要職を歴任し、2008年より社会福祉法人ありのまま舎常務理事。

所属  
団体

- 社会福祉法人ありのまま舎(<http://arinomamasya.sakura.ne.jp/>) / 常務理事
- 宮城県難病相談支援センター(<http://mpcarinomama.web.fc2.com/>) / センター長

### 及川 智 (おいかわとも) / コーディネーター



1978年岩手県盛岡市生まれ。出生時のトラブルにより、脳性マヒとなる。間もなく、両親の地元である宮城県へ転居。肢体不自由児施設退所後に「兄弟と同じ学校に通いたい」との思いから、養護学校を経て、地元の小学校へ転入。学校や家の近所での関わりを通して、「障害者と地域社会」というテーマに興味を持ち、福祉系大学に進学。その後、「障害があっても地域の中で暮らすこと」を掲げる自立生活センター・CILたすけっとで活動後(～2013年5月)、2014年6月に社会福祉法人ありのまま舎入舎。現在に至る。

所属  
団体

- 社会福祉法人ありのまま舎 / 活動センター・ケアセンター長  
(<http://arinomamasya.sakura.ne.jp/>)

### 高橋 愛実 (たかはしめぐみ) / 日米若手障害者交流セミナー研修報告・パネリスト



大崎市古川出身。2013年3月に東北福祉大学を卒業し、「CILたすけっと」のスタッフとして活動中。ウエルドニヒ・ホフマン病という障害から、電動車椅子で生活。高校時代から約8年間仙台市の西多賀病院で生活。2014年3月から長年の夢であった地域でも自立生活を始めた。音楽が大好きで、友人たちと仙台で開かれているイベントで歌っている。今後はピア・カウンセリングやサロン活動を初め、障がいを持っている方々が地域で楽しく生活しやすい町づくりに貢献したい。

所属  
団体

- CILたすけっと  
(<http://blog.canpan.info/tasuketto/>)